

家庭学習の手引き

すすんで学ぶ子どもをめざして



大阪市立生江小学校

➤ 「育ち」や「学び」の特徴

- 「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という好奇心いっぱいの低学年。
- できないことをしかるより、「よくできたね!」「自分でやろうとしてすごいね!」と、認めてほめることで、素晴らしい意欲を生み出します。
- 「早寝早起き」「しっかりと朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。



➤ 保護者として

- ひとりで学習内容や方法を決めることは、まだ無理なので一緒に考えてあげましょう。
- 子どもの考えや疑問を大切に、わからないことは一緒に調べましょう。
- 書いているのを見たり、読んでいるのを聞いたりしてあげましょう。
- まずは宿題を確認して、明日の準備を確かめましょう。
- 学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう。
- 基本的な生活習慣を身につけるようにしましょう。
- テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。
- 家族みんなで、よりよい学習環境づくりに努めましょう。



➤ 学校での学習内容の特色

- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 身の周りの生活と結びついた学習が多く、具体的な物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習を準備する」「整理整頓する」も、基本となる学習です。

➤ 家庭学習のヒント …

学習時間のめやす 10～30分

～家庭学習を始める前にチェックしましょう～

- ☐ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- ☐ 学校からのプリント類を一緒に確かめましょう。
- ☐ 今日の宿題を一緒に確かめましょう。
- ☐ 鉛筆の正しい持ち方を教えましょう。



※ 宿題について・・・ 全部できるようになれば、まず大丈夫です。
宿題をやり終える子どもにしましょう。
家族のアドバイスが必要です。



ワンポイントアドバイス

～こんな内容・方法で家庭学習を～

国 語

○ 教科書の音読

- ・意味のまとまりごとに、すらすら読めるようにしましょう。
- ・句読点(「、」や「。」)に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

○ 漢 字

- ・書き順に気をつけて、丁寧にゆっくりと書きましょう。

○ 日記や作文

- ・楽しかったことやうれしかたことを、素直に自分の言葉で書きましょう。
- ・順番を考えて書きましょう。

○ ひらがな、カタカナ練習など

算 数

○ 計算練習

- ・速さを競わず、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。
- ・正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しよう。
- ・たし算やひき算が正しくできる。九九がすらすらできるようにしましょう。
- ・まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。

○ 問題づくり たし算、ひき算、かけ算になるお話を作りましょう)

その他

○ 読 書

- ・絵本や物語などいろいろな種類の本を読みましょう。読み聞かせもいいです。

○ 観察ノート (生き物や花の様子など)

○ 教科書を写す

○ 詩を書いたり、覚えたりする。

○ 家にあるドリルや問題集をする。

○ 辞典や図鑑で調べる。

○ 学校のチャレンジプリントをする。



➤ 「育ち」や「学び」の特徴

- 学校生活に慣れ、自分でできることも多くなる中学年。
- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。



- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- 1・2年生で身につけた学習習慣がくずれがちになったり、勉強が急に難しくなったり、苦手意識を持ったりすることがあります。
- みんなと行動することを好み、口ごたえや反抗が少しずつ見られる時期です。
- 家族温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

➤ 保護者として

- まずは学校の宿題、それから好きなものを自主的に学習する習慣をつけましょう。
- 子どもがわからないところは、一緒に考えてあげましょう。
- 辞書や地図、新聞などを身近に置いて自主学習に活用しましょう。
- 時間を意識させ、けじめをつけましょう。テレビやゲームの時間を守るようにしましょう。
- 他の子と比べないで、子どもの「やる気」や「がんばり」を見逃さず、本気でほめましょう。

➤ 学校での学習内容の特色

- 総合的な学習、社会、理科の学習が始まり、学習範囲が大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使って調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字をたくさん習います。3・4年生とも200字ずつ。
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+・-・×・÷)の基礎・基本を徹底して学びます。

➤ 家庭学習のヒント …

学習時間のめやす 30～50分

～家庭学習を始める前にチェックしましょう～

- ☐ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- ☐ 学校からのプリント類を親に渡す習慣をつけさせましょう。
- ☐ 今日の宿題を自分で確かめさせましょう。



※ 宿題について・・・子どもの力に合った内容や量になっているか、必要な時は先生に相談してみましょう。



ワンポイントアドバイス

～こんな内容・方法で家庭学習を～



国語

- 教科書の音読(会話文は、気持ちを込めて読みましょう。)
- 漢字
 - ・正しい筆順で、「はね、はらい、とめ」に気をつけて、丁寧に書きましょう。
 - ・漢字のつくりやへんを覚えましょう。
 - ・国語辞典や漢字辞典を使って意味を調べましょう。
- 日記や作文
 - ・様子がよくわかるように、会話を入れてくわしく書きましょう。
 - ・中心をおさえて書きましょう。書いたら、読み直すようにしましょう。
- ローマ字、四字熟語やことわざ、反対の意味言葉調べなど

算数

- 計算練習
 - ・計算の手順が正しく身につくよう、毎日少しずつ練習しましょう。
 - ・筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
 - ・まちがった問題は、くり返し練習しましょう。
- プリントやテストの問題をもう一度やってみる。

その他

- 読書(いろいろな種類の本を読みましょう。)
- 観察日記(植物や根昆虫など)
- 教科書の文や詩、お話などを書きうつす。
- 社会や理科の教科書を読む。
- 詩を書いたり、覚えたりする。
- 家にあるドリルや問題集をする。
- 勉強に関係あることやおもしろそうだったことを辞典や図鑑、インターネットなどで調べる。
- 音楽のリコーダーで習った曲を練習する。
- 学校のチャレンジプリントをする。





➤ 「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が大きく育つ高学年。
- 一人前と認めてくれているか、大切にしてくれているかなど、大人の評価がとても気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになる。
- 考える力も大人並になり、時には反抗も見られます。
- 自分の意思をはっきりと持たせ、自分で責任を持って決定することが大切です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習への意欲や興味・関心が大きく左右されます。

➤ 保護者として

- 宿題と授業の復習を中心に、計画を立てて学習を進めていけるよう見守っていこう。
- 子どもの学習や将来の夢に関心を持って、声かけをしましょう。
- 他の子どもとの比較ではなく、昨日のわが子と比べ、少しのがんばりをほめていく。
- 高学年は忙しくなりますので、必ず学習する時間帯を決めましょう。
- 基本的な生活習慣を見直し、リズムよい生活をさせましょう。
- 目標を持って努力することの大切さについて、話し合しましょう。

➤ 学校での学習内容の特色

- 家庭科の授業が始まるほか、社会や世界に向けた学習など、学ぶ内容が多くなります。
- 筋道を立てて考える論理的内容、抽象的な思考をともなう学習が増えます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ、「学び方」や「ものの考え方」を育てます。

➤ 家庭学習のヒント …

学習時間のめやす 50～70分

～家庭学習を始める前にチェックしましょう～

- ☐ 学習前に、勉強する場所の整理整頓をさせましょう。
- ☐ 学校からのプリント類を親に渡す習慣をつけさせましょう。
- ☐ 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせましょう。



※ 宿題について・・・学校での学習をふり振り返りながら、教科書やノートを参考に
して、苦手な内容もねばり強く取り組むようにアドバイス
しましょう。



ワンポイントアドバイス

～こんな内容・方法で家庭学習を～

国語

- 教科書の音読(間を取りながら読むなど、めあてを決めて練習しましょう)
- 漢字
 - ・漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
 - ・習った漢字を使って、熟語や短文を作りましょう。
 - ・国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう、常に使用しましょう。
- 日記や作文
 - ・自分の気持ちや考えを明確にして書きましょう。
- 詩、短歌、俳句などの暗唱や朗読
- 四字熟語やことわざ、慣用句、反対の意味の言葉調べ

算数

- 計算練習
 - ・よくまちがえる計算は、くり返し練習しましょう。
 - ・答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。
- 教科書やドリルの問題を復習しましょう。
- プリントやテストの問題をもう一度やってみる。



pixta.jp - 3064452

その他

- 読書(いろいろな種類の本を読みましょう。)
- 教科書や新聞の記事などを、字数を決めて書きうつす。
- 社会や理科の教科書や資料集を読む。
- 大事な語句を中心に社会や理科の教科書の内容をまとめる。
- 家にあるドリルや問題集をする。
- 新聞やインターネット、辞典などを活用した学習をする。
- 音楽のリコーダーで習った曲を練習する。
- 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践してみる。
- 学校のチャレンジプリントをする。